



学校だより

CONTENTS

巻頭言 未来に向かって、大きく羽ばたけ! / 校長 山崎 誠	2
特集<第55回卒業式・第25回修了式を迎えて>	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
教職員からはなむけの言葉	22
着任挨拶・退任挨拶	24
NEWS&TOPICS	25

第122号

2021.3.15 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
 National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

校長 山崎 誠



卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。これまでお子様の成長を見守って来られた保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。また、本校の教育をご支援いただいている関係の皆様にお礼を申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行にともない、学生の皆さんには大きな負担をかけました。始業式を実施できず、4月から登校禁止、5月に遠隔により授業を開始しました。6月末ようやく通常授業を実施することができましたが、多くの制約がある中で授業を行うことになりました。全国レベルの体育大会やコンテストが例年通りに実施できず、開催されたコンテストの多くもオンラインとなりました。多くの困難はありましたが、卒業・修了の日を迎えることができました。学生の皆さんの頑張りが一番であり、その努力を称えます。

新型コロナウイルスの感染拡大で社会に不安が広がる中、人々に、とりわけ技術者・科学者に大きな希望をもた

らしたのが、昨年12月、はやぶさ2がカプセルを地球に持ち帰ったことです。はやぶさ2は地球から約3億キロメートル離れた小惑星「リュウグウ」に着陸して砂や小石を約5グラム採取し、地球に届けました。太陽系誕生時の物質が含まれていると期待され、生命誕生の手がかりが有機物の分析から得られると夢は膨らみます。はやぶさ2のプロジェクトには200社を超える優れた技術を持つ日本企業が参加し、多くの技術者・科学者が関わっています。持ち帰った試料の分析にはNASAをはじめ世界中の研究者が参加します。まさに人類全体の夢を実現する大プロジェクトであり、ワクワクする取組です。宇宙開発やAI等、皆さんの未来には多くの可能性があり、活躍の場が待っています。

技術者・科学者の生き甲斐は、人のために仕事することだと思います。これから立ち向かう課題は難しいものですが、皆さんにとっては大きな飛躍のチャンスでもあります。群馬高専で学んだ皆さんにはその力があると私は確信しています。

皆さんが未来に向かって羽ばたき、活躍することを祈念しています。

ご卒業おめでとうございます

寮務主事 富澤 良行

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。保護者の方々もさぞお喜びかと思われそうです。

皆さんはこれから就職先や進学先で、成人として社会に羽ばたいてゆきます。「通用するのだろうか?」、「求められる人材だろうか?」等、不安も多いことでしょう。しかし、世の中における人としての存在意義や価値は、究極的には自分自身が決めるものだと思います。意義や価値の有無や重軽は、人とのつながり、それまでの日々の努力、運なども重要ですが、最終的には自己の心の中で決めることなのです。ましてやその先にある「幸せ」も自分自身が決定する(感じる)重要事項です。卑下することなく自分自身を律して、健康を気遣い、様々の事柄への興味を失わぬように日々研鑽し「幸せ」を感じられるように、そして周りの人に「幸せ」を与えられるようになってください。

令和2年度は歴史的に大変な年であったことが語られる年となることでしょう。皆さんは、このような状況下、群馬高専で工学基礎から専門分野の学修を終え、他学校では味わえないようなバラエティに富んだ学生生活を送った価値ある人材となっています。羽ばたくための力は十分にあるのです。

鏡を見てみよう!

後援会会長 吉野 正範

本科5年生および専攻2年生の皆さま、そして保護者の皆さま、卒業・修了おめでとうございます。就職や進学など、新たなステージへのスタートに祝福とエールを送ります。

高専に入学したての貴方たちの顔はまだ幼く見えしました。あれから5年、7年経って大人っぽくなりましたね。鏡を見て下さい。生き活きた目をしてますか? 良い顔してますか?

子供の頃の顔は親から貰ったもの。大人になってからの顔は自分の生き方が表れるものだそうです。大人になった貴方の顔は、これからの生き方で作られるということです。

輪郭やパーツの大小は変わらないかも知れませんが、表情、顔は作られます。良い顔を作ってください。自分の顔に責任を持てる大人になってください。応援しています。

最後に、保護者の皆さま、今日まで後援会の活動にご理解ご協力いただきましたこと、本当にありがとうございました。

人類の繁栄に貢献

教務主事 碓氷 久

「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する」これが群馬高専の教育理念です。人類の繁栄に貢献している感覚が持てたら、それは素晴らしいことだと思います。ものすごく偉大な仕事を成し遂げるというようなことだけではありません。小さなことでもいいのです。自分で良いと思える方向に社会が変わっていく、それに自分が役立っている、という感覚です。そんな風に思えたら、それはとても幸せなことなのではないでしょうか。卒業していく皆さんは、これまで勉強してきたこと、これから勉強することを活かし、そんな気持ちを持てるようになって欲しいと思います。それによって、私も含めて、この学校に関わった全ての人々が、人類の繁栄に貢献することになるのです。私は、そう思える人が多くなることこそが、人類の繁栄なのではないかと思っています。

卒業・修了おめでとうございます!

学生主事 櫻岡 広

5年生および専攻科2年生の皆さん卒業・修了おめでとうございます。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、すべてのことがうまくいかなかった1年だと思います。それは、私たちも同じです。多くの先生方が「今年度はうまく知識の伝達ができなかった」と思っていると思います。ただ、皆さんの「学び」はこれからも続きます。就職するにせよ進学するにせよ、新しい場所でさらなる知識を積み重ねていってください。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない状況が続いています。皆さんの就職・進学先でも、その影響で多くの困難があることはあらかじめ予測しておいてください。ただ、多少時間がかかる可能性があります。それは、さまざまな感染症の歴史が証明しています。

それまでは、多少我慢の連続とはなりますが、人間万事「塞翁が馬」です。希望をもって先に進んでください。

コミュニケーション能力の向上を

同窓会会長 細谷 功

学科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。皆さんにとって節目となる今年度は新型コロナウイルスの影響で休校や遠隔授業等、例年とは違う状況下で卒業研究、編入試験、就職活動等に取り組まなければならず、大変な一年であった事と思われそうです。この厳しい状況を乗り越えて、卒業という目標を達成出来た事は大きな経験を得たに違いありません。今後、皆さんは専攻科や大学へ進む人、社会人となる人とそれぞれの道を進んでいくわけですが、新型コロナ問題等でまだまだ厳しい状況が続く社会の中で生きていかなければなりません。会社の仕事は、社内外の多くの人々と協力して進めなければなりません。今後はテレビ会議やテレワークなどが多くなり、直接会って話せる機会も減ってくると思われそうですので、自分の考えを明確に伝える事が出来るようにコミュニケーション能力を更に向上させるように頑張ってください。

最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

ご卒業おめでとうございます

学生会会長 3J 渡辺 幸徒

卒業生の皆さま、この度はご卒業おめでとうございます。在学生一同、皆さまの新たな門出を心よりお祝い申し上げます。

自分が入学してからはや4年が経とうとしています。先輩方に支えられてきたからこそ、今の自分があるのだと実感しております。本当に感謝しています。

今年度は、コロナウイルスの影響で、まだ先行きには不安がある状況です。しかし、そんな先輩方なら、群馬高専で学んだ知識と技術、そして考察力と行動力を活かして、未来を切り開いていけると信じています。私も、そんな先輩方のようになれるよう、そしていつか、同じ技術者として、皆さまと一緒に仕事ができるよう努力していきたいと思っています。

最後になりますが、皆さまの更なる飛躍と今後のご健勝をお祈り申し上げます。

保 護 者 よ り



変化が求められる時代に

機械工学科 5年 担任 平社 信人

機械工学科5年のみなさん、卒業おめでとうございます。また、保護者のみなさまにおかれましても、心よりお祝い申し上げます。3年次、4年次、5年次と、3年間担任を担当させていただきました。担任として至らぬ点も多くあったと思いますが、5Mのみなをはじめとするさまざまな人たちの協力を得て、無事に卒業の日を迎えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

前回、5年生の担任を担当したのは、7年前の2013年度になります。そのときと比べて、現在は社会情勢も大きく異なり、多くの変化への対応が求められ、私自身も様々な制約や変化に対応することの難しさを痛感した一年でもありました。休校、遠隔授業からはじまり、体験したことのない生活様式に、窮屈な生活を強いられるようになり、めまぐるしく変化する日々の対応に追われた一年だったと感じております。変化に強い人も、変化が苦手な人もいます。同じ状況下や変化の中でも個々人の捉え方や価値観は大きく異なり、同じ日本の教育下で育っても、人の価値観や行動は多様であることを実感しました。他者との相違を認めたり協調することは、これまで

以上に必要となるかもしれません。

「他人を変えることはできないが、自分を変えることはできる。」「性格は変えにくい、行動は変えられる。」という言葉があります。高専卒業後は、自分自身で、判断を求められたり、自分自身で考え、結論を出さなければならないことが増えると思います。「なにを考えるべきかを考える」ことを大切にしてください。みなさんの能力は、みなが思う以上に高く、また、社会の評価や期待も大きなものとなります。努力できることこそが才能です。これからも、今までと同様に、努力を続けられる人であってください。

また、人間関係においては「お願いすること」「お断りすること」これらができることが大変重要になると思います。自分の良いところも、足りないところも認めてたくさん自分自身を褒めてあげてください。高専での学生生活を誇りに、自分らしい人生を歩んでいってください。そんなみなさんの貴重な時間を私が共有させてもらえたことに、心から感謝しています。

やり切った5年間

機械工学科 5年
朝戸 拓望

卒業を控えた現在、私は高専を選んだことを後悔したことは一度もありません。私が高専を知ったのは小学生のときで、そのころから高専に憧れを抱いていました。いざ入学してみると課題に追われたり勉強についていけず、想像していた生活とはかけ離れたものでした。しかし、学校生活を送るにつれ良い友人たちに恵まれ楽しい毎日になり、無事卒業を迎えることが出来ました。

5年間で考えさせられたのは頑張ることです。なかなか成果が上がらないと「頑張っている」とつい言ってしまうが寮生活などを通して成績上位者を見ると彼らがどのくらい勉強しているのかがわかり、それに比べると自分が「努力をしている」とは安易には言えなくなりました。

高専で学んだ経験は必ず今後自分の大きな糧になります。それをくださった指導教員をはじめ諸先生方や事務の方々、支えてくれた保護者と友人にこの場を借りて感謝申し上げます。

『全集中、未来へ!!』

機械工学科 5年
林 豊樹さんの保護者
林 美佐子

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度は5月からの初めてのオンライン授業で、子供の部屋のドアノブに「授業中につき、入室禁止」のボードがぶら下がりました。ある人が今の状況を“まるで、戦時下”と言っていました。まさに“なるほど”と思ったことが忘れられません。ミレニアムという祝福の鐘の鳴る中生まれた、子供たちの高専生活最後の年が新型コロナという激動の年となりました。

皆さんが進んだ先でも数々の困難に遭うと思いますが、新型コロナというかつて人類が経験したことのない局面に立ち向かって、踏ん張って、高専で学んだスキルを活かしてください。“明けない夜はない”といえます。顔を上げて上を見て進んだ先で大輪の花を咲かせてください。貴方たちならできます。改めて、この度は本当にご卒業おめでとうございます。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (12)
茨城大学農学部
群馬大学理工学部
長岡技術科学大学工学部 (5)
山梨大学工学部 (3)
金沢大学理工学域
岐阜大学工学部
豊橋技術科学大学工学部
研究生 (2)

就 職

ツールセンター株式会社
大泉町役場
電源開発株式会社
東京都下水道サービス株式会社
株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー
株式会社SUBARU
株式会社吉野工業所
雪印メグミルク株式会社
(株)日立ハイテクフィールドエング
株式会社放電精密加工研究所
パーソルR&D株式会社





新しい生活に向けて

電子メディア工学科 5年 担任 中山 和夫

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生たちをこれまで支えてこられたご家族の皆様にも、心からお慶び申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、休校や遠隔授業が行われました。それにより、E科では卒業研究の開始が6月後半からと大変遅くなりましたが、皆さんは、短い期間で良くまとめることができましたと思います。また、編入試験においては、試験日や試験方法の変更があり、いろいろな苦勞をしながら、進路を決めていくことができたと思います。まだ、新たに進路を決める人は、引き続きいろいろな経験を積み頑張ってください。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策、地球温暖化防止などのため、社会はまだまだ変化していきます。皆さんが高専で学んだ知識や技術だけで、これからの変化に対応することは難しいでしょう。ただ、高専生活でも、新たな問題に対して、授業で学んだこと

を用いるだけでなく、友人と共に考え、多くのことを解決してきたと思います。自分は何ができるのか実感はないかもしれませんが、専門分野だけではなく、これからの社会や技術の変化に適応する力が、少なからず、皆さんには確実に身につけているはずですよ。これから皆さんは、自ら選択した新たな世界へ飛び立ちますが、進学や就職をしてからも、常に新しいことやいろいろなことにも関心を持ち、学び続けてください。そうすることで、これからの社会や技術の変化に適応する力を高めていってください。恐れすぎず、いろいろなことを試し、失敗はしても、そこから学習をし、次へ進んでいってください。皆さんの健康と新たな場での活躍を祈っています。

最後に、今は、三密は避けなければいけません。連絡は密に取ってくれると嬉しいです。コロナ禍が落ち着いたなら、いつでも高専に近況報告などしに来てください。

最高の仲間との思い出

電子メディア工学科 5年
吉野 主晃

高専での5年間は楽しいものであったという間に過ぎました。今年度はコロナの影響で多くの学校で編入試験が延期になったためなかなか進路が決まらず非常に苦しい1年でした。そんな中、無事に卒業を迎えることができ嬉しく思います。

私たちE科はやんちゃな学生が多かったですが団結力の強い学科だったと思います。3年生の体育祭で優勝したこと、工華祭でメイドカフェをしたこと、関西へ研修旅行に行ったことなど最高の思い出ばかりです。ですが、それよりもご飯決めじゃんけんて全く美味しくないラーメン屋さんに行ったり、くだらない動画を撮ったりと、普段の日常が一番楽しかったように思います。

来年度からはそれぞれが選択した道に進むのでいつものようにふざけあったりできなくなりますが、いつかみんなで集まりたいです。

最後になりますが、5年間熱心にご指導いただいた先生方、日々支えてくれた保護者の皆様のおかげで私たちは成長することができました。本当にありがとうございました。

保護者より

輝く未来へ

電子メディア工学科 5年
飯田 龍さんの保護者
飯田 尚代

卒業生の皆さん、保護者の皆様 ご卒業おめでとうございます。

群馬高専に入学と同時に学生寮での生活が始まり、5年間の学校生活の中で得た友人や経験はかけがえのないものとなりました。志高い周りの先輩や友人に刺激され、今後の自分を見つけていけたと思います。皆さんと出逢えたこと、とても恵まれた環境で過ごすことが出来たこと深く感謝致しております。

卒業を迎えこれから新しい環境へスタートする皆さん、今までこの群馬高専で多くのことを学び技術を身につけてきたこと、自信を持ってこれから変わりゆく時代の中で活躍されることが自らの喜びとなる事と思います。そして、群馬高専卒業生の皆さんにとってこれから歩む道が明るく輝かしい未来でありますようにと切に願っております。

今までの5年間、教育、指導して下さいました先生方、皆様、心より感謝申し上げますと共に群馬高専の益々の発展をお祈り致しております。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (8)
岐阜工業高等専門学校専攻科先端融合開発専攻
岩手大学理工学部システム創成工学部電気電子通信コース
東北大学工学部電気情報物理工学部電気・情報関係5コース
筑波大学理工学部物理学類
筑波大学理工学部応用理工学類
宇都宮大学工学部電子オプティクスコース電気電子分野
群馬大学理工学部電子情報理工学部電気電子コース
千葉大学工学部総合工学科・デザインコース
東京農工大学工学部知能情報システム工学部電子情報工学コース
東京工業大学工学院電気電子系 (2)
電気通信大学情報理工学域III類・電子工学プログラム
長岡技術科学大学工学部電気情報工学課程
岐阜大学工学部電気電子・情報工学部応用物理コース
岡山大学理学部数学科
九州大学経済学部経済工学科
日本大学工学部電気電子工学科
進学希望 (2)

就職

出光興産株式会社 (2)
(株) NTT 東日本一関信越
サントリープロダクツ株式会社
株式会社 DeNA
東海旅客鉄道株式会社
株式会社吉野工業所
自営 (2)



保護者より

求む!

電子情報工学科 5年
狩野 琢磨さんの保護者

狩野 哲也

早いものでもう5年ですか...

5年前の高専受験の頃の自分を覚えていますか?その時想像していた5年後の自分と、今現在の状況を比べた時にどんな違いがありますか?

既に気付いてる方もいらっしゃると思いますが、自分の未来像を思い描き進んだ5年間と、ただ漠然と目の前の課題をこなして経過した5年間とは、身に付く内容や結果に大きな差が出ます。これは勉強だけではなく、仕事をする上でも人生を歩む上でも同じだと思います。

卒業後に就職や進学をする方、あるいは他の道へと進む方、それぞれが5年先、10年先の未来像を思い描き、それに必要な知識や経験を身に付けながら成長し、一步一步進んでくれることを願っています。

最後になりましたが、この度はご卒業おめでとうございます。

なお、タイトルの「求む!」ですが、本文との関連性は特にありません。

「5年は3年よりも短い」

電子情報工学科 5年
狩野 琢磨

理系の学生が言うべきことではないが、中学の3年間より高専の5年間は短かった。空間のねじれだろうか。入学式で隣のK君の態度が大きく、怖かったのがつい昨日のように思う(今では大の親友である)。

私は、学生会会長を務め、工華祭実行委員長も務めた。学生表彰される2大タイトルの独占である。しかし、これは紛れもなく周りの人々のおかげであった。

敏感な時期の多くの悩みを聞いてくれて、一緒に悩んでくれた教職員の人たち。わからないままにも大きな信頼を寄せ、ついてきてくれた後輩たち。自分たちの器には大きすぎる問題に対し、真剣に考えを語り合いながら、背中を押してくれた友達たち。1つでも欠けていたら、今の自分は全く遠い、ただの希望も自信もない屍だったに違いない。

しかし、卒業というのは終わりではない。通過点と書くように、1つの点でしかない。この点を繋ぎ、線を書き、大きな絵を描けるよう、この貴重な経験を生かし今後も尽力していきたい。

今までみんなありがとう!

「ご卒業おめでとうございます」

電子情報工学科 5年 担任 市村 智康

5年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。偶然ですが、みなさんは、私が小山高専から異動した翌年の2016年度に入学し、群馬高専で初めて副担任をした学年でした。時間が経つのは早いものですね。みなさんは5年間で、立派に成長し、社会で活躍する準備が整ったと思います。私は、逆に5年間で、体力が落ち、最近では近くの物が見えづらくなってしまいました。大袈裟ですが、これも自然の摂理、世代交代の1つのようにも感じます。

群馬高専は、1、2年生が混合学級となっていますので、私が担当したのは、1年の副担として主に学科としての担任、また上級生になってからは、4、5年生の正担任でした。1年生の頃は、みなさんはもちろんのこと、私も異動したてでお互い新しい環境に慣れることで精一杯だったかと思えます。思い返せば、研修旅行で科学未来館等と一緒に見学し、バスの中で普段の生活の何気ない話をしたこと、電子情報工学科の学生実験でレポート返却の際に、厳しく指導したことなど懐かしい記憶があります。また、4年の正担任になった際には、みなさんは憶えていないと思いますが、「このクラス全員を希望の進路へ導き、脱落者を出さない」という話をし

ました。少しカッコをつけすぎだったかと思えますが、これまで担任をした際には常に心がけていたことです。工学以外の道を選択したいという2名の学生が進路変更をしましたが、この学校だよりが発行される頃には全員無事に卒業できていると考えています。ただ、新型コロナウイルスの影響もあり、希望する進学先に向かって引き続き努力している人もいますかと思えます。卒業後も、いつでも私のところへ相談しにきてください。

卒業するみなさんに何か良い話をと考えていましたが、思いつきませんでした。そこで、ブラジル人の先輩から、在学時に教えて頂いた言葉を紹介します。それは「未来は自分の頭の中にある」ということです。彼は、当時、将来の自分としてロボット研究者をイメージしていたようです。そして、現在はブラジル軍研究所の教授になりました。その言葉は、自分の夢や憧れを実現するために、最も大事なものはイメージであり、常にそのイメージを持ち続けられれば、たいいていのことは実現するという意味のようです。しかし、逆に言えば、そのイメージが、その人の限界を決めてしまうのかもしれない。卒業生のみなさん!自分の限界を決めずに、あなたの素晴らしいイメージを持ち続けてください。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

- 群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (2)
- 東北大学工学部電気情報物理工学科
- 筑波大学情報学群情報科学類 (2)
- 群馬大学理工学部電子情報理工学科・情報科学コース (2)
- 東京大学工学部計数工学科
- 長岡技術科学大学工学部情報・経営システム工学課程
- 山梨大学工学部コンピュータ理工学科 (2)
- 信州大学工学部電子情報システム工学科 (2)
- 豊橋技術科学大学工学部情報・知能工学課程
- 豊橋技術科学大学工学部電気・電子情報工学課程
- 広島大学理学部数学科
- 東京福祉大学心理学部心理学科
- 早稲田大学基幹理工学部数学科
- 進学希望 (4)

就職

- FDK株式会社
- G2 Studios株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- アドバンスプランニング株式会社
- ソニーエンジニアリング株式会社
- 株式会社エジソン
- 株式会社エスアイエレクトロニクス
- 株式会社ティンパンアレイ
- 株式会社メンバーズ
- 株式会社不二レーベル
- 富士通特機システム株式会社



保護者より

今日一日を大切に

物質工学科 5年
金庭みなみさんの保護者
金庭 真紀子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
5年前、皆さんはどのような夢を抱いて、群馬高専に入学しましたか？
そしてその夢に少し近づく事ができましたか？
未来を夢見て、そこへ向かって進むことはとても素晴らしい事だと思います。
しかし同時に、その夢の為に悩んだり苦しんだりすることも少なくなかったのでは無いでしょうか。
思ったように成績が伸びなかったり、レポートの提出に追われたり、勉強と部活の両立で疲れてしまったり、辛いこともあったと思います。
けれどその辛さや苦しさは、皆さんを逞しく成長させました。
悲しいかな、人生には辛さや苦しさはずっとついて回ります。
どうしたら良いのか途方に暮れたなら、理系の皆さん、その原因を冷静に分析してみてください。
必ずそれを克服する答えが自分自身の中に見つかるはずですよ。
未来とは、今日一日の積み重ねの結果です。
今日一日を大切に生きてください。
そして頑張った自分を、今日一日よくやったなあ、とたくさん褒めてください。
夢を実現できる出来ないではなく、夢を実現しようと苦しみながらも頑張っている今日の自分こそが、一番素晴らしいのですから！

— 感謝 —

物質工学科 5年
小澤 勇希

卒業するにあたり、これまで5年間の感謝をしたいと思います。まずは、クラスの方へ。テスト範囲でわからない部分を、時に解答の手順を丁寧に教えてくれたり、実験のわからない操作について教えてくれたりと、何度も助けてくれました。また、クラス委員としてじゃんけん大会などで強引に事を進める時にも、何も言わず参加していただいたこと、感謝申し上げます。年々小さくなる出席番号を確認しあつた日々を忘れません。ありがとうございました。
次に、先生方へ。私たちのことをよく気にかけてくれ、授業を行うだけでなく、成績や進路のことなど様々な場面でお世話になりました。先生方は働き者です。低学年の頃はそんなこと微塵も思っていませんでしたが、卒業を迎える今、強く思っています。休める時は全力で休んでください。本当に、ありがとうございました。
父親へ。これを見ることはないと思いますが一言。わがままを聞いてくれてありがとう。
最後に親しくしてくれた友達へ。皆様のお陰で、この5年間は楽しかったと言えるようになりました。もし、友達が高専にいなかったらと考えると、恐ろしくて恐ろしくて震えます。皆様によって価値観が磨き上げられ、昔よりも友達を大切にするようになりました。この先何があっても、お金は貸しませんが、私は皆様の味方です。大事にします。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

新たな時代を創るひとに

物質工学科 5年 担任 大和田 恭子

皆さん、卒業おめでとう！晴れて物質工学科第25期生となったことを担任として大変嬉しく思います。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

物質工学科25期生は、日本人学生31名と留学生1名の32名です。入学からこれまで、群馬高専で様々な試練を乗り越え、立派に育ち、卒業する日を迎えられることに担任としても誇りに思います。それと同時に、この日を迎えることができたのは、多くの方々の支援や見守りがあったからです。学生も支えられました。そして担任も支えていただきました。感謝に堪えません。有難うございました。

皆さんの正担任を4年次・5年次の2年間務めさせてもらいました。4年生当初を振り返り、4年次の学級日誌を開いてみました。4月4日（木）始業式の日「久しぶりにみんなに会った。良い一年にしたい」、4月5日（金）「初めて材料と生物に分かれて授業を受けた。クラスの半分の人数で授業を受けるというのは新鮮であった。」とありました。日誌には、卒業研究の研究室を決める時期の気持ちや、試験期間前後の様子、「今日の〇〇」のコーナーには、いろいろなコメントがあり、工華祭や社会見学旅行（北海道）といった大きな行事も担任として強く印象に残っていますが、クラスにおける日常の積み重ねの大切さを実感

しています。皆さんも日直で書いた日誌を覚えていますか。

5年生になった令和2年度は、新学期から新型コロナウイルス感染の世界的流行のために学校生活にも大きな影響がありました。始業式も中止となり、卒業研究や就職・編入学試験への対応等、5年生にとってはまさに試練としかいいようのない状況だったと思います。これらの状況を乗り越え、就職・編入学等の進路を決め、卒業研究発表会は、K科で初めてのオンラインで実施することができました。皆さんの柔軟な姿勢と努力とともに、周りの方々のお力添えの大きさにも感謝いたします。

いよいよ4月から新しい生活が始まります。新型コロナウイルス感染拡大防止は、まだ続くでしょう。防止対策のひとつのマスクは、感情表現を難しくするかもしれません。新たな環境で自分の力を出し切るために、これまで以上に人と向き合ってコミュニケーションをとることに努めてください。この新型コロナウイルスの世界的流行は、働き方も学び方も変わる変換点になるのだと思います。皆さんが、本科5年間で培った群馬高専物質工学科の魂をもって、新たな時代を創るエンジニアとして更なる成長を遂げてくれることを楽しみにしています。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (10)
東北大学理学部生物学科
茨城大学農学部食生命科学科
筑波大学生命環境学群生物資源学類 (2)
群馬大学理工学部化学・生物化学科 (4)
新潟大学理学部化学科
新潟大学農学部農学科応用生命科学プログラム
長岡技術科学大学工学部物質材料工学課程 (4)
長岡技術科学大学工学部生物機能工学課程 (4)
金沢大学理工学域生命理工学類

就 職

信越化学工業株式会社
ダイキン工業株式会社
日本ジェネリック株式会社



保護者より

親子2代群馬高専の門戸を叩く

環境都市工学科 5年
小暮建斗さんの保護者

小暮 英雄

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。
自らも卒業した群馬高専の門を息子が叩きました。同世代1%程の特殊な学校で、馴染めるのか心配でした。15歳で決まる将来の道筋。入学後、希望通りではない、イメージと違ったと思ひ悩む人も少なくないと思います。息子も悩んだ方で「この科目なら興味がある。やってみるか。」と整理して克服したと思います。卒業を迎えホッとします。

高専生は、企業から若くして専門技術を学び、実践力、粘り強さ、推進力を持つことを評価され、また編入生も委員会で付き合いのある大学の先生方から“編入生は実力がある”と聞きます。これは高専教育の賜物で、入学に伴い“学生と呼ぶ、自学せよ”と告げられ、“留年は自業自得”、時にはもがき苦しみながら多くのレポートや実習等をこなして鍛えられるからだと思ひます。

しかしながら、高専で習得した技術力だけでは世の中は渡れません。夢を抱き、想像力溢れる技術者として日々学びを深め、前向きにチャレンジすることが必要です。そうすることで道が開けると先輩として感じます。

また、共に学んだ仲間を生涯の友として未永く付き合ひ、励ましあって過ごすことで、きっと生涯の糧になると思ひます。

ご指導して下さった諸先生方、関係職員の方、後援会の皆様に深く感謝いたします。

Here Comes The Sun

環境都市工学科 5年
井澤 亮介

私たちのクラスの自慢といえば、ソフトボールをはじめテニス・卓球など、球技大会における競技がとても強かったところである。ソフトにいたっては、2年連続優勝という輝かしい功績を残した。私は応援しているだけであつたが、みんなの活躍する姿を心の底から格好いいと思つた。個人的な思い出としては、文化祭でのライブが一番印象に残っている。たくさんの友達が見に来てくれて、盛り上げてくれた。今度はみんなのほうが格好いいと言ってくれて、とても嬉しかったのを今でも覚えている。このように互いに認め合い、尊敬し合える仲を築けたことが、この5年間で一番良かったことだと思ふ。

今はまだ人との接触を避けなければならない暗い世の中かもしれない。しかし、これから別々の道を歩んでいき、今日を懐かしく思う頃には、また日が昇って明るい時代になっていると信じたい。その時には、またみんなで集まって盛大に同窓会でも開催したいですね。



つながりの意識を忘れず、経験を結びつけて豊かな人生を

環境都市工学科 5年 担任 永野 博之

5Cの皆さん、卒業おめでとうございます。ご家族の皆様におかれましては格別の思いで今日を迎えられたことと拝察いたします。本日のお子様の門出を心よりお祝い申し上げます。5Cの皆さんは、コロナ禍の中、多くの不安を抱えながら就職・進学活動を行ったでしょう。ご家庭もまた同様に、多大な心配の中、それでも皆さんを暖かく見守り続けていらしたはずで、卒業という一つの節目を迎えるにあたり、これまでの学生生活を支えて頂いたことに対する感謝の気持ちをご家族に伝えて頂きたいと思ひます。

私が担任を受け持ったのは3年生からですが、君達の入学と時を同じくして群馬高専に着任しましたので、一方的な親しみを勝手に抱いていたことをよく覚えています。学校という空間で、青春真っ盛りの年代の学級担任を受け持つという経験は、会社や大学の研究室での指導とは全く別物でありとても新鮮でした。一方で、初めての担任ということで不慣れなことも多々あり、君達には随分と不便な思いをさせたのではないかと思います。それでも卒業を迎えることができたのは、君達をはじめ、ご家族の方々、関係各位のおかげとあらためて感謝しているところです。誠にありがとうございました。

タイトルは、自分自身の社会人生活を振り返って感じるようになったことです。仕事に慣れてくると、ルーチン化が進むため処理速度は上がります。しかし、仕事の背景や各ステップのつながりなどへの意識がおろそかになることもあります。仕事を捌くだけの意識では、先入観や思い込みにとらわれてしまうでしょう。解決するための素養や経験はあるのに、それまでのやり方では使っていないことになっていくので、とてももったいないことです。頭の回転が速い君達は、効率を意識しすぎるせいか、別のやり方を探してみたり、手間がかかるやり方をあえて試してみたりすることは避けてきたような印象を受けます。1つの目的に対して1つの方法だけで満足することなく、いろいろな方法を試して、解決方法をアレンジできる能力を常に磨き続けて頂きたいと思ひます。

タイトル中の経験を出会いと捉えれば、人間関係にも通じるころがあると思ひます。高専を含めこれまでに出会った人たち、これから出会う人たち、つながりを大事にして豊かな人生を君達が送ることを心より願っています。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (7)
- 北見工業大学地球環境工学環境防災工学コース
- 東北大学工学部建築・社会環境工学科
- 筑波大学理工学群社会工学類都市計画主専攻
- 群馬大学理工学部環境創生理工学科社会基盤・防災コース
- 新潟大学工学部力学分野社会基盤プログラム (2)
- 長岡技術科学大学工学部環境社会基盤工学課程 (6)
- 長岡技術科学大学工学部生物機能工学課程 (2)
- 金沢大学理工学域社会基盤学類
- 岐阜大学工学部社会基盤工学科防災コース (3)
- 豊橋技術科学大学工学部建築・都市システム学課程 (2)
- 九州大学理学部数学科

就 職

- エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社
- 株式会社日本ピーエス
- 東海旅客鉄道株式会社
- 東亜建設工業株式会社
- 五洋建設株式会社
- 株式会社エイト日本技術開発
- 三井住友建設株式会社 (2)
- 独立行政法人水資源機構
- 熊谷市
- 株式会社昭和設計
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 鹿島クレス株式会社
- 沼田市
- 株式会社IHIインフラ建設
- 電源開発株式会社
- ニチレキ株式会社



保護者より

世界を変える君たちへ

環境工学専攻 2年
都丸大晟さんの保護者

都丸 敏克

専攻科および高専生活を終了する皆様、7年間の活動に対し労をねぎらうと共に心よりお祝い申し上げます。

昨今、早急な対応が求められている自然環境問題や大規模な災害をもたらす気候変動、また新型コロナウイルスの脅威など、目まぐるしく変化していく世界情勢や厳しい環境の中で、これから皆様に期待されていることはまさしく「世界を変える」ことだと考えております。

研究は、新しい事実や解釈の発見であり終わることはありません。たとえ人が変わっても、そのイズムは誰かに引き継がれ研究を探究し続けることが重要であり、意味があるものと考えます。おそらく、皆様もその一員となって学生生活を過ごされたのだと思いますし、これから社会に出ても、その新たな一員となり世界中の人々のため、希望の未来のための布石を打っていくことになるでしょう。

皆様が学んだ7年間の成果物は、この先数十年あるいは数百年後の世界を救う第一歩につながるものと確信しております。

最後になりますが、在学中は手厚いご指導・進路相談など賜りました先生方および先輩方に感謝申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。大変ありがとうございました。

プラスとマイナスでプラスに

生産システム工学専攻 2年

嶋 彩花

私たち専攻科生は本科5年間、専攻科2年間の7年間の高専生活を終え、間もなく群馬高専を修了します。本科入学時には5年後の卒業が程遠く感じましたが、卒業からさらに2年を過ごし終えた今、7年は一瞬だったように錯覚します。

先日の特別研究Ⅱの発表後に、私の恩師である指導教員からいただいた言葉をここに記します。「人はプラスとマイナスを両方経験するから成長できる。プラスばかりではキャパオーバーになってしまう。」ものごとは一長一短で、マイナスを経験するからこそ前に進もうと思えるのだとお話してくださいました。この7年間、常に一意専心に勉学と向き合えたわけではありません。本科で中だるみを経験したり、卒業研究から目を背けたり、マイナスに転じてしまった時期もありました。一方で、定期試験や入学試験、研究発表などプラスの力を発揮できた場面もありました。プラス要素とマイナス要素、絶対値が同じではゼロに戻ってしまいますが、プラスが少しでも大きければ結果はプラスに転じます。高専修了後の新たな道でも紆余曲折があるとは思いますが、プラスマイナスを経てプラスに前進できるよう、尽力していきます。

技術革新のパイオニアに！

専攻科長 太田 道也

専攻科修了生の皆さん、おめでとうございます！

また、この2年間、専攻科教育にご理解とご支援・協力を賜りましたご家族の皆様方に厚くお礼を申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。

今年度に入り、3ヶ月にわたる遠隔授業や特別研究のオンライン発表会など、新型コロナウイルス禍はついに教育の場に大きな影響を及ぼしました。研究活動においても学会の開催が相次いで中止となり、再開のめどが立ったのは今年度に入ってオンライン化が確立してからでした。ニュースではテレワークという言葉が定着し、働く場にも影響が出ています。最先端科学への世界中の信頼が揺らいだかのように感じられましたが、「正しく恐れ」はするものの科学・技術は着実に進歩し続けています。皆さんは研究活動を通して静かなうねりを肌で直接感じられたことでしょうか。人類は幾度となく疫病による存亡の危機を経験しては、それを克服し、発展に転じて今日の隆盛を築いてきました。ある時代の科学・技術が飽和点に達しようとしたとき、一般に既成概念にとらわれない科学的発想と行動力が技術革新を生み出し、次の世代に引き継がれるものです。世界中で「SDGs」と

「Breakthrough Technologies」への機運が高まっています。視点は異なりますが、人類貢献としては一致しています。今日、蓄積された情報量や検索技術は過去と比べものにならない現在においては、このデータベースを駆使した技術革新が必要とされ、既に突破口となっている技術も出てきています。従来大型設備に依存しない電子冷却技術が一例です。この技術は1834年に発見されたPeltier効果に由来し、小型化・軽量・省エネルギーが謳われています。すでにPCのCPUの冷却、測定機器の検出センサーの冷却などで使用されるようになっていますが、約190年前に発見された現象が半導体工学という近代科学・技術の進歩にもなって実現した画期的な技術革新の一つです。技術革新を待つ技術にはAnti-Aging DrugやRobotics、CO₂ Catcherなどもあります。

皆さんは本科・専攻科の学生時代での知識・経験・友人関係を財産として、未来に向けた技術革新のパイオニアとなれることを期待します。またお会いできる日を楽しみにしています。

修了生進路一覧

※()内は人数

進学

東北大学大学院生命科学研究所分子化学生物学専攻
東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成科専攻
筑波大学大学院理工情報生命術システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム (3)
筑波大学大学院理工情報生命術システム情報工学研究群構造エネルギー工学学位プログラム
東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻
東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻
東京工業大学大学院工学院機械系
東京工業大学大学院工学院電気電子系 (4)
東京工業大学大学院工学院情報通信系
東京工業大学大学院物質理工学院材料系
東京工業大学大学院生命理工学院生命理工学系
総合研究大学院大学高エネルギー加速器科学研究科加速器科学専攻
京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻
奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域
九州大学大学院総合理工学府総合理工学専攻

就職

キヤノンメディカルシステムズ株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
株式会社富士通マーケティング
株式会社日立製作所
三和工機株式会社
東芝デバイス・エンジニアリング株式会社
シャープ株式会社
株式会社エル・ティー・エス
株式会社日立システムズエンジニアリングサービス
東日本高速道路株式会社
日東工機株式会社
株式会社資生堂
FDK株式会社
株式会社波多野調査設計
株式会社環境技研



学生氏名	卒業研究題目	担当教員
朝戸 拓望	H鋼溶接用反転支持機的设计	黒瀬
新井 公平	気液界面における蒸発・凝縮に関する分子動力学シミュレーション	矢口
荒井 夏輝	乱流場における粉塵爆発の希薄側可燃限界付近の特性	花井
池田 颯	重金属添加溶融塩腐食に及ぼす S/Cl 比の影響	山内
井澤 幸広	Sn-Bi-Sb 合金の変形挙動	山内
伊藤 優介	コイルを横配置させた高効率アクチュエータの試作開発	重松
大熊 悠生	難燃性粉体の添加による爆発への影響	花井
金子 修汰	LMD 方式の金属 3D プリンタにおける造形特性の評価	黒瀬
菊地 穰	DBD プラズマアクチュエータを用いたデルタ翼の制御	矢口
菊地 遼平	温湿度遠隔測定のため温室ハウス群に設置するデータ収集用親機の開発	榎本
黒崎 千春	ガス式燃焼装置を利用した煉化石窯の IoT 化による安全性の向上に関する研究	花井
桑原 柊弥	逆洗流速に対する逆洗効果の評価法に関する研究	平間
小暮 拓哉	工具ホルダへの制振合金適用による振動低減評価	櫻井
小林 拓海	輸送機器へのプラズマアクチュエータ適用に向けた風洞実験	矢口
齋藤 鈴花	ハイテン材のプレス成形における型変形	黒瀬
櫻井 拓夢	農園事務所と温室ハウス群との直接接続を目指した長距離通信システムの開発	榎本
嶋 清花	小型広角カメラによる月軌道を用いた超小型衛星の姿勢角検出システム	平社
清水 敬太	風レンズに対する DBD プラズマアクチュエータの応用	矢口
鈴木 颯太	コイル横配置モータを用いたデュアルリアクションホイールの実験的研究	平社
関口 賢太	プラズマアクチュエータの電極形状に関する基礎的検討	矢口
代 悠人	木星電波観測衛星のアンテナ展開機構と艤装設計	平社
田中 健太	改質水を切削油剤希釈水とする効果	櫻井
中澤 祐真	環境に配慮した軸組構造ベンチの設計	黒瀬
野口 隼人	ミル加工におけるセミドライ加工の研究	櫻井
萩原 想大	極軌道における地磁気を用いた超小型衛星の姿勢角検出手法	平社
江村 大知	深層学習を利用したピンピッキングのためのねじ種類識別に関する研究	小川
林 豊樹	ミル加工における制振合金スリーブ適用の効果	櫻井
堀内 洋侑輝	クラウドを利用した温室ハウス環境のモニタリングシステムの開発	榎本
黛 澄和	浄水場における沈澱池前段での残塩測定による施設管理の改善	平間
山崎 太雅	金属 3D プリンタを用いた CFRTP のプレス成形における成形曲率の影響	黒瀬
高田 琴乃	多足歩行ロボットの歩容生成に関する研究	重松
新井 達也	四足歩行ロボットの試作研究	重松
大熊 洋輝	音声通信を利用したガス式ピッツァ窯の安全性と利便性の向上についての研究	花井
尾城 和寿	3次元歯面修整はすば歯車の振動特性	小川
塩田 駿	ナックル式トグル機構の解析と ACM への応用	重松
塚本 浩平	Sn-Bi 合金の変形挙動に及ぼす Zn 添加の影響	山内
細川 唯行	省力化を目指したハウス内の温湿度測定用子機の開発	榎本
スハイル アズミン・ビンズルキリ	音声入力によるロボット指示システムの開発	小川

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
青木 悠真	位相可変発振器の高周波数化に向けた検討	五十嵐
有川 世修	二次元物質二セレン化バナジウムの磁性に関する研究	塚原
飯田 龍	ベクシオン強度の数理モデル化	碓氷
石井 雄也	コンクリートレーダの受信回路の作成	富澤
石川 竜平	コンクリートレーダとのインターフェース	富澤
伊坪 壮太	強磁場下2次元電子系の電流分布についての数値計算	平井
岩瀧 良太	ソフトウェアハードウェア協調設計を用いた画像処理システムの開発	松本
岡崎 涼太	購買行動における確率分布	大嶋
唐澤 風海人	位相可変発振器の高周波数化に向けた検討	五十嵐
桐生 海	センサー付きグローブによる「指の動き」の読み取り	谷中
黒岩 航舜	燃料電池の発電効率と温度特性に関する基礎研究	中山
小池 一輝	風力発電システムにおける集風技術に関する検討	中山
坂田 一真	燃料電池の発電効率と温度特性に関する基礎研究	中山
佐藤 大輔	CMB 温度異方性の宇宙論パラメータ依存性	渡邊(悠)
清水 雅哉	FPGA を用いたモータ駆動制御用回路の設計と評価	松本
白木 豪	出席管理システムの開発	布施川
鈴木 淳之佑	タグ検索機能付き日記アプリの開発	布施川
砂賀 開晴	AR ライブ配信サービス「StreamAR」の開発	谷中
瀬尾 翼	高周波数化 DDS 基板の製造に向けた検討	五十嵐
田村 波瑠子	株の売買における意思決定のゲーム理論による考察	宇治野・高橋
千代間 健祐	エネルギーハーベスティングを用いたセンシングシステムの開発	佐々木
富沢 綾太	相対性理論におけるシュワルツシルト解	大嶋
野崎 秀	固溶型ニッケルプルシャンブルー類似体の酸化還元電位の温度係数	柴田
林 奈々花	コンクリートレーダ・アプリケーションの開発	富澤
船津 望光	強磁場下2次元電子系の電流分布についての数値計算	平井
星野 友宏	量子情報処理のための量子光学	大嶋
峯岸 宏典	リフロー装置の製作と評価	五十嵐
矢嶋 優樹	振動を利用した移動体の識別	谷中
安川 昂秀	太陽電池の温度特性と発電効率に関する基礎研究	中山
山菅 昇太郎	重力場中の Dirac 方程式	宇治野・高橋
吉野 主晃	グラフェンの電子状態に関する研究	塚原
江原 佑弥	スケジュール機能付小遣い帳アプリの開発	布施川
白石 隆博	購買行動における確率分布	大嶋
原崎 望	線形代数と圏論	碓氷
松村 凌太	スロットマシンアプリの開発	布施川
大友 悠暉	強磁場下2次元電子系の緩和時間についてのデータ解析	平井

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
飯尾 修司	論理回路の確率的テストバリエーションの検証	大豆生田
石坂 龍斗	デジタル制御による降圧形 DC/DC コンバータ高性能化の検討	築地
岩城 翔也	現代ポートフォリオ理論を用いたAI学習カウンセラーの開発	荒川
浦野 孔希	エコーロケーションに向けた波動の数値解析	宇治野・高橋
大磯 秀幸	音声の匿名化技術に関する実験的検討	川本
大久保 拓哉	非圧縮性ニュートン流体の数値シミュレーション	宇治野・高橋
大澤 孝雄	格闘ゲーム弱点克服のための戦闘パターン矯正システムの提案	荒川
小材 拓夢	リーマンの明示公式について	谷口
狩野 琢磨	機械学習を用いた自動麻雀進行支援システムの開発	崔
河内 信誠	VR クロスモーダルによる視覚効果が味覚に与える影響	渡邊(俊)
桑原 佑太	格闘ゲーム弱点克服のための戦闘パターン矯正システムの提案	荒川
剣持 玲	イジングモデルを利用した株価変動の予測	宇治野・高橋
後閑 佑月	ベイズ推定による WBGT 変動予測モデルの構築	雑賀
小菅 柊人	Nintendo Switch における 1 点式体表点字の実装	大墳
小柳 太一	Kinect を用いた姿勢の認識システムの構築	崔
佐藤 佑軌	大規模論理回路開発システムの機能改良および新規実装	木村(真)
鹿野 貴義	リターゲッタブルコンパイラに関する研究 ~ COINS ベース TMD の自動生成ツールの開発~	木村(真)
清水 怜央	機械学習を利用した音声変換技法	川本
下田 亮馬	状態空間モデルを用いた日射量予測の検討	雑賀
関口 将護	Kinect を用いた姿勢の認識システムの構築	崔
高山 聖史	機械学習を用いた自動麻雀進行支援システムの開発	崔
竹内 至温	論理回路の確率的テストバリエーションの検証	大豆生田
谷 勇吾	仮想空間におけるアバターによる使用者の性格の変化	大豆生田
時澤 亮一郎	リターゲッタブルコンパイラに関する研究 ~ COINS ベース TMD の自動生成ツールの開発~	木村(真)
中里 元勇	ガロア理論と方程式	碓氷
中島 陽紀	モノラルマイクロフォンによる音源方向推定	川本
中村 康太	固溶型ニッケルプルシャンブルー類似体を用いた三次電池	柴田
南雲 太郎	群馬県におけるからっ風発生傾向の予測	雑賀
野口 隼杜	スマートフォンを用いた画像文字の 1 点式体表点字変換システムの検討	大墳
原島 鈴夏	「つくばチャレンジ」参加へ向けた自律型2輪ロボットの製作	市村(智)
書上 太一	特殊センサ試験用ロボットの試作	市村(智)
鳥山 晶弘	サーマルカメラを用いた防犯アプリケーション	渡邊(俊)
二瓶 正之	大規模論理回路開発システムの機能改良および新規実装	木村(真)

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
今井 啓太		藤野
生方 嘉人		藤重
江澤 喜朗		太田(道)
大野 誠太郎		大岡
小澤 勇希		友坂
金庭 みなみ		平
久保 祐人		大和田
黒岩 愛帆		平
佐野 零二		辻
静野 颯太		齋藤
澁澤 圭佑		大岡
須藤 悠太		中島
高瀬 峻汰		齋藤
高田 武尊		大和田
舘野 瞬		宮越
塚越 愛理	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産の観点から非公開とさせていただきます。	工藤(ま)
友寄 美月		出口
鳥羽 樹		大岡
永井 梓織		平
長岡 大瑤		出口
沼尻 大空		工藤(ま)
東崎 瑞己		太田(道)
福島 花奈		藤重
福島 希		大和田
松田 らめ		太田(道)
水出 暁登		藤野
村田 悠夏		友坂
森 俊一郎		中島
諸田 有希奈		工藤(翔)
吉田 梨花子		齋藤
鈴木 紘人		藤重
エンフヤル ホラン		友坂

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
井澤 亮介	地震観測記録に基づく構造物の損傷状態推定に関する基礎研究	井上
石井 裕樹	道路交通条件に応じた二段階横断施設の交通島設計手法に関する研究	鈴木
井原 啓賀	東北地方の火山灰土及び地盤特性について	森田
今井 克実	水平2方向の地震作用が偏心構造物の弾塑性応答に及ぼす影響	井上
岩城 奈知	コンクリートと無機系注入材の繰り返し温度負荷による界面の累積損傷	田中
枝 怜	通電による炭酸アンモニウム水溶液中のアンモニウム態窒素への影響	谷村
大塚 望菜美	ICT計測システムの事業化	先村
樺澤 陸玖	2019年10月の台風19号により鑄川流域で発生した水害の特性に関する研究	永野
川原 碧生	試験体寸法および表面処理が楔形注入孔の付着特性に与える影響について	田中
菊地 一智	連作障害防止に向けた松バークを用いた土壌改良資材の製作	青井・宮里
久保田 雅也	下水汚泥と剪定枝混合によるコンポスト化条件の検討	堀尾
倉本 篤希	abcd予想からabc定理へ	谷口
栗原 鉄朗	流動状態となったまさ土・豊浦砂の応力状態に関する研究	森田
黒岩 駿平	音響データハイディングとUAVによる防災情報伝達システムの活用方法とその検討	井上
小泉 翼	自転車利用者の経路選択要因に関する分析	鈴木
小暮 建斗	アスファルト混合物の4点曲げ疲労試験におけるき裂進展に関する一考察	木村(清)
小松 颯大	IMUを利用したドローンの操作及びその活用の検討	先村
齊藤 匠映	活性汚泥法にバサル繊維を用いたハイブリッド水処理システムの検討	堀尾
佐藤 景也	地震時の斜面崩壊による道路閉塞を考慮した中山間地の孤立リスクの評価	井上
佐藤 稜真	施工履歴データを活用した施工再現ソフトウェアの作成	先村
下谷 菜々子	シリカによる下水処理微生物を用いた水処理に与える影響	宮里
鈴木 るうか	粕川中流から下流の水質および水生生物による河川環境把握	宮里
高木 杏美	回転円盤排水処理におけるケイ酸の生物膜へ及ぼす影響	青井・宮里
滝澤 里桜	水中の有機物除去に対する通電の影響	谷村
都築 直仁	一連の地震活動における周期特性を考慮した2方向地震動の方向性分析	井上
手島 翼	景観からみた伝統的河川工法の評価に関する研究	永野
中島 慧土	施工履歴データを活用した施工再現ソフトウェアの作成	先村
中村 隼人	試験体寸法および表面処理が楔形注入孔の付着特性に与える影響について	田中
服部 亜美	身近な衛生汚染度と次亜塩素酸水の消毒機能の評価	堀尾
細川 裕紀	破壊力学を用いたアスファルト混合物の疲労き裂進展に関する一考察	木村(清)
松本 安祐美	中和事業河川の恒久的管理に向けた物質輸送評価手法について	永野
宮沢 康太	エポキシ樹脂系打ち継ぎ面処理剤による強度特性と耐水性に関する研究	田中
守田 佳弘	電動キックボードの回避特性と周辺歩行者に及ぼす不安感に関する研究	鈴木
柳井 援気	液状化現象に地下水が及ぼす影響	森田
矢端 竜乃介	飛砂現象の観点から見た火砕流粒子層の運動機構に関する一考察	永野
山居 洋介	硫黄脱窒法と鉄リン除去法の組み合わせによる窒素・リン除去効果	堀尾
荻野 楓	エポキシ樹脂系打ち継ぎ面処理剤による強度特性と耐水性に関する研究	田中
吉本 玄	IMUを利用したドローンの操作及びその活用の検討	先村
平形 優実夏	テキスト分析による防災授業の理解度計測と授業改善に向けた提案	永野
小鳥 瑞月	電解消毒による生活排水処理水への適用評価	堀尾
久保 翔太	流動状態となったまさ土・豊浦砂の応力状態に関する研究	森田
平野 克	アスファルト混合物の4点曲げ疲労試験におけるき裂進展に関する一考察	木村(清)
堀越 優侑	埋立地盤を対象とした液状化挙動解析	森田
石関 有樹	アスファルト舗装による河川砂防施設の防災機能向上に関する研究	永野
シラズ・ビンティ・モハド アリ ジャアファル	水中の有機物除去に対する通電の影響	谷村

学生氏名	課題名	サブタイトル	正担当	副担当
石井 大也	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	中ぐり加工における制振合金を使用した複合スリーブの振動抑制	黒瀬	櫻井
石川 悠真	GaAs/AlGaAs ヘテロ構造界面の2次元電子系の電流分布に関する研究	強磁場下 2次元電子系の電流・電場分布	平井	五十嵐
一倉 弘毅	ヒトが扱うメディアの認識・統合・合成に関する研究	多重線形モデルを用いた日本語母音の音声加工技術	川本	崔
内田 弘樹	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	広帯域可視光送受信回路における低雑音化の研究	佐々木	五十嵐
岡田 颯太	産業応用上の制約を考慮した制御技術に関する研究	冗長関節系を有する多脚歩行型ロボットの最適制御に関する研究	平社	平間
小此木 大輝	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	FPGAを用いたMRI装置用パルスシーケンスコントローラのシステム統括に関する研究	五十嵐	市村(智)
小野 恵人	移動ロボットに関する研究	個人・少人数へ向けたデジタルサイネージの検討	市村(智)	渡邊
小淵 宗士朗	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	デュアルリアクションホイールを用いた超小型衛星の高精度姿勢制御系の実験的研究	平社	黒瀬
窪田 修太	情報技術とヒューマンインターフェースを活用した研究	ARを用いた仮想試着	崔	渡邊
佐藤 廉	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	レーザーを用いた屋外可視光通信のための受光軸調整システムの開発	佐々木	五十嵐
嶋 彩花	先進材料の損傷強度に関する研究	プレス成形における金型の変形に及ぼすクッション圧の影響	黒瀬	山内
龍見 智也	センサによる人の行動検出を活用した研究	センサを利用した人の行動認識応用システム	崔	渡邊
田中 悠雅	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	深度カメラを用いた障害物検知と距離測定に関する研究	佐々木	松本
富澤 陸	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	超小型衛星の月画像と地磁気を用いた複合姿勢角検出に関する研究	平社	櫻井
根岸 海	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	最適遅延設定機能を有する非同期マイクロコントローラ的设计	松本	佐々木
橋本 侑典	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	動的遅延切替に基づく非同期バイブライン回路に関する研究	松本	佐々木
藤井 智哉	多自由度を有するリンク機構の制御に関する研究	バイラテラル制御系における位置制御系と力制御系の最適融合方式	平社	平間
星野 拓真	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	位相可変共振器駆動機構連携型パルスシーケンス発生機構の実用的構築	五十嵐	佐々木
横尾 杏之介	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	パルスシーケンスのコーディング法及びそのシミュレータの開発	五十嵐	佐々木
吉田 順一	ナノデバイスの動作に関する研究	計算機シミュレーションに基づくグラフェンのバンド構造の考察	高橋	大豆生田
吉田 大輝	計算機を用いた量子力学系のシミュレーション	非対称形状を持つ超伝導体の整流特性の研究	高橋	宇治野
渡邊 直起	計算機を用いた統計力学系のシミュレーション	統計力学を用いた細胞ダイナミクスの計算	高橋	宇治野
飯塚 大起	安全で円滑な道路交通環境に資する道路幾何構造および交通運用手法の研究	信号交差点における全赤時間適正化に伴う安全性評価に関する研究	先村	鈴木
鷗木 暉	真核微生物を用いた外来遺伝子導入法と発現システムに関する研究	微細藻類の脂質代謝関連遺伝子クローニングと遺伝子発現の解析	宮越	大和田
石川 真菜	機能性酸化セラミックスの合成とその形態制御に関する研究	溶液法による蛍光体セラミックスの合成と結晶構造解析	平	中島
石田 球大	自然および生活環境を脅かす問題の発生要因の解明と解決法の検討	持続可能な農業に向けたバイオマスの新規有効利用法の検討	宮里	堀尾
栗原 花怜	真核微生物を用いた外来遺伝子導入法と発現システムに関する研究	自活性線虫による植物寄生性線虫被害抑制への遺伝子工学的検討	宮越	大和田
佐藤 駿	金属有機構造体内に構築した不均一系錯体触媒の調製とその触媒特性に関する研究	金属有機構造体内に構築した無機錯体を利用した金属ナノ粒子の固定化およびその触媒活性への影響	平	齋藤
周藤 瑞季	有機物を主体とした結晶粒子群の製造と評価に関する研究	溶液法による共結晶粒子群創製での結晶化現象の解析と結晶粒子群品質の制御	出口	工藤(翔)
須藤 瑠璃子	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	植物病原菌が生産する植物毒素の単離と同定	大岡	友坂
都丸 大晟	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	金属被覆カーボンナノチューブを用いた熱電発電材料の作製	太田(道)	出口
中村 優作	アスファルト舗装における疲労強度の評価手法の開発	異方性を考慮した破壊力学的パラメータの提案	森田	木村(清)
並木 優典	生理活性が期待される有機化合物に関する研究	フラボノイドを基盤としたプロゲステロン受容体リガンドの創製	大岡	工藤(ま)
橋場 美月	生活排水処理施設の処理機能改善のための技術的検討	電気化学的方法を用いた生活排水処理施設の消毒処理機能改善の検討	堀尾	宮里
長谷川 樹	橋梁の地震時挙動に関する研究	水平2方向入力地震に対する橋梁の震動制御に関する研究	田中	井上

教職員からはなむけの言葉

Failure is simply the opportunity to begin again, this time more intelligently.

(失敗は単に再挑戦できる機会のことだ。今度はもっと賢くやれる。)

自動車王ヘンリー・フォードの名言を贈ります。失敗を恐れず、なんでもどんどん挑戦してみてください!

(一般教科(人文科学) 教授 横山 孝一)

ちょうど1年前、コロナ感染の影響が出始めていましたが、このような特別な1年を過ごすとは想像できませんでした。より記憶に残るであろう高専生活を終えた皆さんの今後の活躍に期待しております。また、時間ができればぜひ顔を出してください。楽しみにしています。

(機械工学科 准教授 榎本 弘)

高専生活に対して真摯に取り組み、積み重ねた努力の分だけ、時代の変化に適応する「しなやかさ」が身につけていると信じています。高専生活をやり遂げた経験を糧として、さらなる活躍を期待しています。

(電子情報工学科 准教授 川本 真一)

卒業おめでとうございます。

今は喜びと希望に満ちていると思いますが、まだまだこれから多くの人生の荒波を乗り越えなければなりません。多くの人に会い、多くの経験を積み、学びと挑戦を忘れず、前進してください。

(環境都市工学科 教授 堀尾 明宏)

みなさんの、新たな旅立ちを心より祝います。

このキャンパスで、感じ、思い、考え、学んだことが、みなさんの飛躍の糧となることを切に望みます。

ごきげんよう!!

(一般教科(人文科学) 教授 大島 由紀夫)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。本当に大変な1年でしたね。専攻科修了の皆さんは本科の入試での大雪もありましたね。高専に入るときも出るときも大変な思いをしたわけですが、いつか穏やかな気持ちで振り返ることのできる日が来ると思います。どうかお元気で。

(機械工学科 准教授 矢口 久雄)

これから始まるそれぞれの道で、ときには苦しいこともあるかもしれませんがそれも含めてめいっぱい人生を楽しんでください。

そのときときに、高専での経験が役立つことを祈ります。

(電子情報工学科 准教授 荒川 達也)

ご卒業おめでとうございます。

これから皆様は、それぞれの道を進むこととなりますが、人生で最も価値あるクラスメートを忘れないでください。また、学校にいつでも遊びに来てください。成長された姿をたのしみにしています。

(環境都市工学科 教授 先村 律雄)

迷ったら前へ。苦しかったら前に。つらかったら前に。後悔するのはそのあと、そのずっと後でいい。

——闘将と呼ばれたプロ野球監督・星野仙一氏の言葉

(一般教科(人文科学) 嘱託教授 飯野 一彦)

『卒業・修了 = 完全クリア』って思ってる人、絶対いるよね?

ご卒業・修了おめでとうございます。卒業したらそれで終了って思っている学生さん、いませんか?卒業は言ってしまうとチュートリアル終了みたいなものです。高専での経験を外の世界で上手に使ってください。

(機械工学科 講師 平間 雄輔)

通年で毎週の実験レポートに追われながら授業課題もこなし、幾多の定期試験を乗り越え、今日皆様は無事に卒業を迎えました。胸を張って堂々と高専を卒業したことに誇りをもってください。ご卒業誠におめでとうございます。

(電子情報工学科 助教 築地 伸和)

人は、“行動を起こさない”から“できない”、という言葉があります。行動しないで後悔するより、一所懸命に実行しましょう。“何事も為せば成る”です。たとえ失敗しても、あなたの将来に繋がる貴重な経験になります。

(環境都市工学科 准教授 宮里 直樹)

ご卒業おめでとうございます。入学してからの5年間・7年間は、いま思えばあっという間だったと思います。これから健康に留意し、一層の精進を心掛けてください。ご活躍を期待します。

(一般教科(自然科学) 教授 神長 保仁)

自身に影響を与えるような他者との出会いがありましたか。本を読んだりテレビを見たりする中においても、素晴らしい人に出会えます。

今後、皆さん方が良き出会いに恵まれることを期待します。

(電子メディア工学科 教授 平井 宏)

修了・卒業おめでとうございます。

群馬高専で習得した知識と実験センスを基礎として、より一層の努力で未来を切り開いてください。さらなる活躍を期待しています。

(物質工学科 嘱託教授 藤重 昌生)

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。 述者不詳

夢をこわす人もいるかもしれませんが、作者は吉田松陰、ではないそうです。

卒業おめでとうございます。夢を持って前に進みましょう!

(教育研究支援センター 技術専門職員 浅見 博)

ご卒業おめでとうございます。5年間自分で考えて、悩んで得られた知識、経験は皆様を成長させたと思います。この知識、経験を持って、それぞれの次のステージに進んでください。

(一般教科(自然科学) 准教授 吉田 はん)

この度はご卒業おめでとうございます。特にこの1年は様々な困難があったかと思いますが、常に考えて、準備し、努力を怠らずに、この先にある未知の問題に立ち向かって、解決していただければと思います。

(電子メディア工学科 准教授 松本 敦)

卒業はゴールではなくスタートラインです。高専生活の中で培ってきた、頑張り、踏ん張り、粘り、思いやり、そして皆さんひとりひとりの個性を大事にして、ますます輝けるように頑張ってください。

(物質工学科 准教授 中島 敏)

時間がたつのは、歳とともに早く感じるようになります。20歳で人生の半分という説もあるそうです。やりたいことを書き出して、先延ばしせずどんどん実行しましょう。その中で好きなことを見つければ幸せです。

(教育研究支援センター 技術専門職員 小城 淳一)

ご卒業おめでとうございます。

これから様々な環境に飛び出して行きますが、この5年間・7年間頑張ったことにより20代は輝いて過ごせることでしょう。その後はこれからの10年間でどう過ごすかで決まります。皆さんの活躍を楽しみにしています!

(一般教科(自然科学) 准教授 渡邊 悠貴)

卒業・修了おめでとうございます。

立ち会えた期間は短いですが、皆さんが高専で培った力と技があれば恐れるものはありません。

面白いもの、美しいものをたくさん見つけて、人生を謳歌してください。

(電子メディア工学科 助教 市村 和也)

ご卒業おめでとうございます。5年間の最後が大変な1年となりましたが、ニューノーマル第1世代として本年度を乗り切ったことに自信をもってそれぞれの地で活躍することを期待しています。

(物質工学科 准教授 齋藤 雅和)

「遠回りすることでしか本当の自分に出会えないというか、そんな気がしているので。」

元メジャーリーガーイチローさんの引退会見での一言です。未来あるみなさんもたまには遠回りしてみるのもいいかもしれませんね。

(教育研究支援センター 技術職員 黒澤 拓末)

着任挨拶

くしゃみの恐ろしさ

機械工学科 助教 樋口 雅人



令和3年1月1日より機械工学科の助教として着任した樋口雅人です。私は群馬高専で学び、卒業後は長岡技術科学大学へ編入しました。在学中にお世話になった先生を見るたび、今も高専生なのでは?と不思議な気分になります。

私はナノテクノロジーを支援するための微小変位測定に関する研究をしています。変位とはものの動きのことです。目では認識できない微小な変位を測ることは、皆さんが毎日使う機器の製造に必要不可欠で、これには光をものさしとして用います。普段使うものさしの目盛り間隔は1ミリメートルで、光のものさしでは数百ナノメートルと大変小さいです。更に信号処理などで目盛りと目盛りの間を補間し微小変位を測定できるようになります。ナノメートルの領域ともなればありふれたことが測定に影響を及ぼします。特にくしゃみは測定を簡単に台無しにできます。一回測定するだけで一苦労ですが、それでも面白いものです。

このような研究分野を見つけられたのは、高専在学中に非常に沢山の経験をさせていただき、視野が広がったからだと思います。皆さんの将来にもそんな出会いがありますよう、少しでも後押しできたらと思います。これからよろしくお祈りします。

Profile

- 出身地
群馬県高崎市
- 前職
なし
- 最終学歴
長岡技術科学大学 大学院工学研究科
機械創造工学専攻 修士課程 修了
学位：修士（工学）
- 研究分野
計測
- 趣味
SAL (Side Arm Launch glider)
- 座右の銘
時は皆平等

退任挨拶

「学問のすすめ」

電子メディア工学科 嘱託准教授 谷中 勝



これを書くにあたって、諸先輩とのことが頭に浮かびますが、権威を汚すようなことはとても書けません。学問における権威は、理解しようとする努力に無駄ではない可能性を保証してくれます。ただ信ずれば良い、役に立てば良いというだけのものではありません。理解しようとする努力がまた権威を保証します。学校もそれらを保証するところです。

さて、この3月末に高専を退職しますが、分かりやすい説明とは、理解度を確認するには、サボリ心を防止するには、等の課題解決に捉われ過ぎて、私自身の（人と課題と学問を）理解する努力が足りていませんでした。今後も、AIと哲学と計算機アーキテクチャについて勉強を続けるつもりです、少し自由に。

（おまけ）問：権威と権威主義の違いは何か？

「退任のご挨拶」

一般教科(自然科学) 准教授 柴田 恭幸



4月より東京海洋大学越中島キャンパスで研究・教育活動をするようになりました。コロナ禍において、自身を取り巻く状況を鑑みて群馬を去ることを決断したことが事の発端ですが、思えば着任当時の想定よりも早い異動となってしまいました。

私が着任したのは2016年4月のことです。その間、多くの教職員の皆さまにサポートしていただき、この場を借りて深く感謝いたします。

さて、この5年を振り返ってみようと思ったのですが、コロナ禍というこの1年があまりにも激動過ぎてどうしてもそこに目が行ってしまいうため、その点を踏まえて少くも学生の皆さんにメッセージを送りたいと思います。この1年は否応なしに変化への対応が求められてきましたが、こういう時だからこそ、自分の頭でよく考え、行動するようにしてください。変革の時期は成長のチャンスでもあります。厳しい時期はまだ続くと思いますが、終わりは必ず来ます。その先にある未来で生き抜くためにも変化に柔軟に対応し、各々の成長につなげてください。皆さんの未来が美しく輝かしいものであることを願っています。

最後になりましたが、群馬高専のさらなる発展を祈念いたします。

定年退職を迎えて

事務部長 亀原 正美



42年間に亘る勤務を終え、3月末をもって群馬高専で定年退職を迎えます。群馬高専での勤務は2年間という短い期間でしたが、私が廊下を歩いているときに学生の皆さんが元気に挨拶してくれたことが一番の思い出です。

高専勤務は群馬高専の前任地の石川高専と併せて4年の勤務ではありましたが、大学とは異なり中学校卒業後の学生を受け入れることもあり、事務部として学生課を直接の窓口、教職員が一体となって、良い勉学環境の維持と、よりきめ細かい学生支援を第一に心掛けてまいりました。

2年間お世話になりました関係者の皆様にご挨拶申し上げますとともに、群馬高専のますますのご発展を祈念いたします。短い間でしたが、ありがとうございました。

学生会新役員紹介

新体制でスタート!

新学生会会長 2年3組 (J) 登坂 真伍



新しく群馬高専学生会の会長を務めさせていただき登坂です。新体制での学生会活動は、世の中が大きく変化して、何が起るかわからないこの状況の中、いかに柔軟に対応できるかが重要になってきます。これまでの学生会活動から変化する部分が出てくると思いますので、常に先を見据えた学生会活動を心がけていきたいと思っています。

さて、そんな学生会とは一体どのようなものなのか、ここで軽く紹介をしたいと思います。学生会とは群馬高専の全学生によって構成される組織で、その中に各部活動や愛好会、委員会などが置かれています。そしてこれらの活動の運営等を行っているのが、学生会の最高執行機関である学生会執行部です。学生会執行部は名前に「部」とついていても厳密には部活動ではないのです。イベント等の運営だけでなく、予算の執行やアンケートの実施、他高専学生会との交流なども学生会執行部が行っています。

新副会長や執行部の役員とも協力し連携を取りながら、学生会がより活発になるよう努力していきたいと思っていますので、学生の皆さんも活動への積極的な参加をよろしくお願いいたします。

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2020

地区大会出場報告

ロボコンは青春

ロボット研究会 3J 市川 創也

群馬高専Bチームは地区予選敗退で今年の高専ロボコンに幕を閉じた。悔しがる人も勿論だが、それ以上に楽しかったと口にする人がほとんどだった。高専ロボコンでは半年程かけてその年のルールに合ったロボットを製作する。もしも、予選敗退で終わってしまったらそれ以降の大会でそのロボットを動かすことは無い。しかし、それは私にとって大きな問題ではない。なぜなら、ロボットを作り大会を迎えるまでが夢になれるからである。今年はロボット製作以外にもダルマを運んだり、プロジェクターの調整をしたりとたくさんのことをした。そんなことをしていたらいつの間にか地区大会を迎えていた。これまでのロボコンの中で一番夢中になって取り組んでいた。ただ作るのではなく、楽しく作ることができたのは、良いチームにしてくれたリーダーとメンバーのおかげだ。ロボコンは私の高専生活を華やかにしてくれた。ロボコンは青春だ。



全国大会出場報告

来たぜ! バーチャル国技館「群馬!」

ロボット研究会 3M 青木 美夢

この掛け声と共に私たちのロボコン全国大会は始まりました。新型コロナウイルスの影響で全国大会もオンラインで行われました。全国大会に出場したのはAチームですが、Bチームの仲間も準備や練習、製作に協力してくれました。大会日程がテスト中だったので、勉強に部活とチームメンバーみんなが疲れ切った状況の中、本番は行われました。現役員にとって初めての全国大会の結果は満足は行っていませんでした。しかし、ミスなく最高のパフォーマンスを全国のロボコンファンに届けることができたので悔いはありません。

テレビでのロボコンの放送を見るとやはり女子部員が多くいるチームが話題になるようです。現在ロボ研の女子部員は「好きな数に3を足し、2倍する。その数から2を引き、2で割る。さらにその数から最初に使った好きな数を引く」人しかいません。ちょっとでもロボットに興味がある子、最高の仲間が欲しい子、お願いします! 来て下さい! ロボ研は楽しいぞ!



関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

レシテーション部門 優勝

初めての英語弁論大会

2M 柳原 知佳

英語に関わりたいという一心で挑戦した英語弁論大会も最初はレシテーション部門がどういったものかも知りませんでした。予選でも緊張から言葉が詰まることも多く、大会に出場できたこと自体が私にとって奇跡のようなものでした。また、新型コロナウイルスの影響で通常とは異なる点が多くありました。密集を避けるため大会はビデオ撮影での発表になったり、練習を遠隔でせざるをえなかったりと心配もありました。しかし、遠隔の練習に関しては効果はかなり実感していて、弱点を押さえた熊谷先生からのアドバイスは的確だったと思います。緩急のつけ方を教わりとにかく早く話すことが英語らしさではないということをはっきりと理解しました。私からの質問に対して丁寧な回答をいただき先生には感謝してもしきれません。この成功体験は今後も何かに挑戦する上できっと役に立ってくれると思います。英語だけに限らず様々なことに挑戦をして自分の強み、弱みを知りこれからの人生に役立てていきたいと思っています。



スピーチ部門 2位

「英語弁論大会を終えて」

4M 村上 森音

「全国大会出られたら焼肉行けるかもしれないよ。」私が英語弁論に出場しようと思ったのは、オンライン授業期間中の小菅先生のこの一言がきっかけでした。私はこの言葉を聞いて、全国大会に出場して焼肉を奢ってもらおうぞという強い意志を胸に、英語弁論大会に挑戦することを決意しました。その勢いで臨んだ校内予選は運よく通過することができ、小菅先生と共に全体の構成、プレゼンテーション資料を練り直しました。様々な方の協力もあり、関東大会では2位、その後の全国大会では3位という結果を残すことができました。今年是对面での発表ではなく録画の提出だったのでより完成度を高めたプレゼン作り集中できたという点で大変恵まれた年だったと思います。また多くの人の協力を頂いて、一人では決して得ることができませんでした。この場を借りてご協力いただいたすべての人に御礼の言葉を申し上げます。本当にありがとうございました。



吹奏楽部定期演奏会

コロナ禍での定期演奏会

吹奏楽部 4C 小松 由依

令和2年は、新型コロナウイルスの流行で様々なイベントが中止されましたが、群馬高専吹奏楽部は12月20日に第58回定期演奏会を無事に開催することができました。

演奏会の規模を縮小し、会場を学内の大講義室へ変更し、演奏もアンサンブル形態となりましたが、開催することができ、大変嬉しく思います。

今年は群馬高専吹奏楽部に12人もの新入部員を迎えましたが、吹奏楽部の活動が少なく、今回の定期演奏会が新入生にとって初めての発表の場になりました。練習時間も限られていましたが、精一杯頑張ることができたと思います。また、演奏会の動画配信なども部員で協力して行いました。初めての試みでしたが、それぞれの学科の専門知識を活かし、上手くできたと思います。

定期演奏会にあたって、ご指導、ご支援して下さった先生方、保護者の皆様、学校の事務員の方々、演奏を見て下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

まだまだ活動に制限がありますが、部員一同力をあわせて頑張りたいと思います。



全国高等専門学校デザインコンペティション「デザコン2020 in Natori」

構造デザイン部門

「紙の橋」の限界に挑戦!

構造デザイン研究会 3C 町田 宇輝

構造デザイン研究会です。本研究会は全国高専デザコンの構造デザイン部門で優秀な成績を収めるべく、橋の設計・解析・製作をしています。今年の大会は宮城県名取市で行われるはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で、異例のオンライン開催となりました。

今大会では、ケント紙という薄い紙とボンドのみを使用し「50kg耐えるか、デザインおよびプレゼンはどうか、レギュレーション内でどれだけ長く軽いか」の3項目で審査されました。

遠隔授業等で例年よりも時間が取れない中、効率的に制作するため、橋のどの部分に最も負荷が掛かるのかパソコンを用いて構造解析を行い、その結果を用いて制作しました。今回、制作した橋は宮城県には有名なサーモンがあるとのことで、お寿司をイメージし、アーチ構造にしました。

今年は残念ながら入賞出来ませんでしたが、来年こそは部員一同で協力し、全国での上位入賞を目指します。また、本研究会を支えて来てくださった方々に感謝いたします。



AMデザイン部門

「来年こそは!」

3Dデザイン研究会 3M 八木原 蓮

令和2年12月3、4日に2020高専デザコン in Natori AM部門に出場しました。本来であれば名取での現地開催でしたが今年はZoomを使ったオンライン開催でした。本校からは3Dデザイン研究会の2チーム出場して、15チーム9高専の応募から7チームが予選を通過し、私は「Anniversary candle」という作品で本選に出場しました。残念ながら「感染予防ハンドグリップ」チームは予選通過できませんでした。

本選では自分以外のチームが全員4年以上で4人チームだったり、要項には5個賞があると書かれていながら結果発表では1つしかなかったり、まあ色々あり、賞は残念ながら取れませんでした。そのため本選はいい思い出を作れませんでした。

1番の思い出は夏休み最後の週に応募の締め切りがあり、アイデアもなく諦めていたところ、締切り前日の夜に「出せそう?」と言われ、1文字も書いてないのに「とりあえず書き上げてみます!」と返信し、そこから全力6時間で書き上げ、予選に通過するのが楽しかったし、今までで一番嬉しかった思い出です。

本選の準備ではポスターやプレゼンの作成など、今までにやったことがなく、貴重な経験を積めました。ご指導頂いた黒瀬先生、花井先生には大変お世話になりました。来年は知識を増やし、打倒審査員を目標に挑みたいです!



令和2年度 CMコンテスト

「まだの方、ぜひご視聴ください!」

広報委員長 市村 智康

今年度、群馬高専ではCMコンテストを開催致しました。このコンテストは、平成30年度、当時の企画主事である環境都市工学科木村清和教授のご尽力によって実現したCMコンテストの第2回目として実施されました。基本的な枠組みは、第1回となる平成30年度のCMコンテストと同様な方法を踏襲させて頂きました。今回の大きな変更点としては、地元の群馬テレビにおいてCMとして放送することでした。新型コロナ感染症対応の影響で募集期間も短く、作品が応募されるか大変心配されましたが、結果的に合計5本のご応募を頂きました。どの作品も、全く異なる作風で、作者の個性を感じることものできるものでした。そのため、なかなか甲乙つけ難いところでありましたが、群馬高専後援会の吉野会長ならびに広報委員の皆様にご審査の上、3本を入賞作品として選ばせて頂きました。これら入賞作品は、11月上旬に群馬テレビのスポットCMとして実際に放送されると同時に群馬高専公式HP上に掲載されております。まだご覧になられていない方は、ぜひご視聴ください。



ニュース & トピックス

環境都市工学科 企業説明会

環境都市工学科企業説明会を開催!

環境都市工学科 教授 木村 清和

環境都市工学科ではキャリア教育の一環として例年、C科同窓会主催で4年生とその保護者を対象にした「OB・OGによる進路情報交換会」を開催しています。しかし、本年度はコロナ禍のため開催ができず、さらに夏季のインターンシップも開講されなかったため就職を考えている学生にとっては厳しい年となりました。そこでC科では、「環境都市工学科企業説明会」を企画し、11~12月に4回に分けて開催しました。直近3年間で採用実績のある企業18社、地方公共団体4機関に本校を訪問いただき、学生も延べ3年生42名、4年生96名、専攻科生8名が参加しました。学生にとって企業・機関で活躍している卒業生の仕事内容や経験を踏まえたアドバイスを聞き、企業・機関の方々の熱心なプレゼンを通して社会の高専生への期待の高さを感じる良い機会となりました。これを機に環境都市工学科では次年度以降も引き続き企業説明会を開催したいと考えます。



企業のコーナーで進路相談をする学生の様子

学生相談室 研修会

悩みをもつことは悪いことではない

学生相談室長 谷口 正

11月に国立高等専門学校学生支援担当教職員研修が遠隔で実施されました。ここでは7,8人のグループに分かれて各高専の実情などの報告と対応策について話し合われました。研修を通して私は、他高専の学生たちも悩みを抱えている人が多いということに改めて実感しました。それらを踏まえて私なりの感想を述べさせてください。悩みがある、とはどういうことでしょうか? 悩みといっても人それぞれ違い、悩みの深刻さも異なりますが、誤解を恐れずに申し上げますと、人として悩みをもつことは健全なことであるということです。人は常に様々なことに悩みながら生きているのではないかと考えます。悩みと共存していくことが自然であり重要なことであると私は思います。しかし、悩みを放置するのはよいことではありません。どんな悩みにしても苦しかったら一人で抱え込まず、人に相談して解決方法を探ることを忘れないでください。相談すれば必ず解決するわけではありませんが、話すことで、少しでも気が楽になったり、自分を見つめ直す良い機会となったりします。そのための一つの手段として群馬高専の学生相談室があります。是非ご活用ください。

環境都市工学科 講演会

非日常を日常にする土木

環境都市工学科 助教 井上 和真

12月23日(水)に京都大学の高橋良和 教授を講師に迎え、「全ての学術の最前線に立つ土木」という題目で、C科学科別講演会をオンライン(Teams)にて開催いたしました。三密防止のため、学生は複数の会場でリアルタイムに配信する講演を聴講するという方式を採用しました。

高橋先生のご専門の耐震構造学の学術的な内容から、土木の魅力を伝える活動(どぼくカフェやTV出演)など、非常に興味深い内容の講演をしていただきました。災害の多い我が国で安心・安全で暮らせることが土木の役割を「土木は非日常を日常にする」という言葉を用いて説明をされており、非常に感銘を受けました。

また、学生からも積極的に質問をする姿がありました。教育現場において、オンライン行事の有効性を実感するとともに、今後もオンラインなどの先駆的な技術を用いて様々な学科行事を開催したいと考えております。オンラインを活用して、多くの方々と学生が繋がることが期待できると思います。



生物教育研究連携講演会

「人と自然と技術が共生する社会の実現に向けて」

地域連携テクノセンター 副センター長 宮越 俊一

第14回生物教育研究連携講演会は、産業廃棄物の中間処理で新たな潮流を生んでおられる石坂産業(埼玉県三芳町)の石坂知子専務取締役を講師にお招きし、表記のような演題でご講演いただきました。新型コロナウイルス禍の影響で石坂産業と2つの会場を結んで初のオンライン・ライブ配信での開催となりましたが、関係者の綿密な準備と協力により、安定した画像と音声で実施することができました。

テレビ番組でも取り上げられている同社の取り組みですが、ダイオキシンが問題となった際に地域の反対運動で危機に陥ったことをはじめ、数々の逆境を乗り越えながら地域の信頼を得ていった様子は、百余名の聴衆に感銘を与えました。その後も、人材の多様性と技術を尊重し、「里山」に象徴される環境と共存する経営により、産廃業のイメージを一新しておられます。講演後の多くの質問にもひとつひとつ丁寧にお答えいただき、専攻科、群嶺テクノ懇話会及びダイバーシティ推進室とも連携した開催にふさわしい講演会となりました。



情報セキュリティ講習会

遠隔講演による「情報セキュリティ講習会」

情報基盤センター長 布施川 秀紀

ネット社会における犯罪から個人情報を守るため、情報セキュリティに関する知識を持たなくてはなりません。また、高専機構では、サイバーセキュリティに特化した高い技能を有する人材を社会に輩出するための教育に取り組んでおり、K-SEC事業の一環として関東管区警察局長の原宏先生に「警察におけるサイバー空間の脅威への対処について」と題して講演していただきました。講演では、サイバー空間の脅威やサイバー攻撃対策の話の他、パソコンを使用しているデジタル・フォレンジックに関するデモも行っていただきました。

今回は、コロナ禍ということもあり、Microsoft Teamsの会議の機能を使い、講師の先生には遠隔地から、聴衆については、4E学生は実験室から、その他の参加希望学生については各自の端末から参加してもらいました。また、講演内容は教職員にとっても有用であるため、同様に Teams で参加していただきました。

令和2年度 ダイバーシティ推進室企画

ダイバーシティ推進室より

ダイバーシティ推進室長 櫻岡 広

学生の皆さん、ダイバーシティ推進室企画のYouTubeは見ただけでしたか? 不肖私が料理しているところを掲載させていただきました。一昨年の宮越先生との「焼きそば対決」に続いてですが、この企画の意図を少し説明します。

令和元年度にダイバーシティ推進室長になって最初の会議で「何をしましょうか」という話になりました。というのは、世間一般で行われている「男女共同参画」事業には疑問を感じていました。「女性」を対象にした事業が多いように思いますが、本質はそこでしょうか?むしろ男性の意識を変えていくことのほうが大切なのではないかと、学生主事として係わったある事件で強く思いました。

そんなところから、男性教員だって家事をしているよというメッセージを込めて、一昨年の宮越先生との「焼きそば対決」という企画が生まれました。昨年は新型コロナ禍で色々なことが思うにまかせない状況だったので、とりあえず簡単にビデオを撮ってみました。

これからも、私がか家でしている家事をビデオに撮ってあげていこうと思います。でも、あまり期待しないでください。



令和2年度 群嶺テクノセンター

群嶺テクノセミナー報告

地域連携テクノセンター長 櫻井 文仁

令和2年12月18日(金)、S103教室で第168回群嶺テクノセミナーが開催された。E科市村先生の「プラズマってなんだろう」では、現代人がいかにプラズマの恩恵に預かっているかということを確認させられた。また、J科築地先生の「降圧形DC/DCコンバータの制御システム設計法」では、スイッチング電源の設計について分かりやすく説明していただいた。お二方共、実に興味深い講演内容で、非常に参考になった。

また、2021年1月22日(金)、S103教室で第169回群嶺テクノセミナーが開催された。一般科(自然)北田先生の「曲がった空間での微分・平行移動」では、球面上の小円に沿った平行移動を例に、接続や曲率の概念をやさしくご紹介いただいた。また、M科樋口先生の「レーザ干渉計を用いたナノメートル以下の動きを測定する研究」では、波長が安定化されたレーザ光源にいろいろな変調・復調法を組み合わせることでナノメートル以下の高い分解能の動きを測定する原理をご説明していただいた。今回も、前回同様、新人のお二方の方に興味深い講演内容であり、大変参考になった。

	セミナータイトル	講師	月日
第168回	プラズマってなんだろう 降圧形DC/DCコンバータの制御システム設計法	電子メディア工学科助教 市村 和也 電子情報工学科助教 築地 伸和	12月18日
第169回	曲がった空間での微分・平行移動 レーザ干渉計を用いたナノメートル以下の動きを測定する研究	一般教科(自然科学)講師 北田 健策 機械工学科助教 樋口 雅人	1月22日

スマート・サイエンス・スクール (SSS)

継続を力に変えて

物質工学科 教授 出口 米和

スマート・サイエンス・スクール(SSS)は令和2年度に第8回を迎えることができました。数字の8は昔から縁起の良い数字として伝わっていますが、今年はコロナウイルスの影響を受けた年となってしまいました。

SSSは毎年、各学科の先生方と相談しながらテーマを出し合って開催しているのですが、今年は残念ながら例年通りのスケジュールでの実施はできませんでした。しかしながら、これまで続けてきたSSSを何とか実施したいと考え、この原稿を書かせていただいている時点では、期間を短縮した形で11月22日(日)、11月28日(土)に実施をすることができました。あわせて4名の中学生の皆さんが2つの講座に参加してくださいました。また、これまでのSSSの特徴を生かして、11月28日(土)には実験した内容をまとめて、実験報告会を行うことができました。

コロナ禍で大変な中、SSSへ参加して下さった中学生の皆さんをはじめ、実験と報告会の指導をいただいた先生方、報告会にご参加いただいたスタッフの方々に感謝を申し上げます。まさに、継続は力なりを実感したSSSとなりました。今回の継続をさらに大きな力として、これからもSSSに取り組んで行こうと考えています。



ニュース&トピックス

ひらめき☆ときめきサイエンス

3Dプリンタを使ってプレス成形できるかな!
ver.2を実施して

機械工学科 教授 黒瀬 雅詞

令和2年11月15日(日)に令和2年度(ひらめき☆ときめきサイエンス)ようこそ大学の研究室へ(KAKENHI)事業を実施しました。金属3Dプリンタと樹脂3Dプリンタを使ってCADから型を作って、ステンレス板をプレス成形してキーホルダーやバッジを作る体験学習にVersionUPして、実施しました。

講義を挟みながら金型の構造と工夫を理解してもらい、写真のような作品を手にして持ち帰ってもらいました。3DCADは少々難しいですが材料力学研究室学生の補助によって全員作品を完成させることができました。3Dプリント体験では17色から好きな色を選んで自分のオリジナル型を作製してもらい、改良に励んでいました。コロナ禍のため参加者は半分となってしまいましたが、保護者も参加して楽しい学びの場となったようです。

自分の考えで設計修正したことできれいに作品ができる、よりきれいな条件を探してみたい。それがモノづくりの奥深さと感じます。本事業の開催中止も相次ぎ、実施することも悩みましたが、対策を徹底し、無事に実施できてよかったと感じています。



産業計測制御技術委員会 優秀論文発表賞受賞

ボーナス・トラック

専攻科修了生 新井 将典

このたび、「ラゲル関数を用いた制御シミュレーションのための閉ループ同定法」という研究題目に対し、電気学会産業計測制御技術委員会より、優秀論文発表賞を頂きました。本題目は、2020年2月に東京で開催された、制御/産業計測制御合同研究会で発表したものです。ただでさえ賞を頂くのは嬉しいことですが、学業の面では特段の功績を残すことなく修了し、幽かな心残りがあった私にとって、今回の受賞はひととき嬉しく感じました。

本研究の遂行にあたっては、M科の平間先生に多くの面でご指導いただきました。なかでも、スライドを用いた発表に対する考え方は、就職した今でも非常に役立つもので、感謝の限りです。今回の賞を自信につなげ、今後も成長を続けていきたいと思っています。



日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会
優秀ポスター賞受賞

ポスター賞を受賞して

AE2 石川 真菜

日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会で優秀ポスター賞を受賞しました。本年度は、新型コロナウイルスの影響のため、3か月ほど実験をすることはできなかったのですが、その時間を利用して研究に関する調査をし、さらに、ゼミでの研究計画や文献調査の報告を通して、知識を深めてきました。そのため、自身の研究について色々な視点から見つめなおすことができました。また、休校期間に研究計画を立てることができたので、スムーズに実験を再開することができたと思います。

今回は、オンラインでのポスター発表でした。今までに、何度かポスター発表をしたことがありますが、このような形式での研究発表は初めてだったので、普段の学会とは違う緊張感がありました。また、今までに使用したことのないウェブアプリでの発表だったので、不安もありましたが、学会は他の学校の先生や学生からの質問やアドバイスを頂ける場でもあるので、参加することができてよかったと思います。



一般社団法人 日本塑性加工学会関東3支部新進部会
ポスター発表 努力賞受賞

高専での知識で挑む

5M 齋藤 鈴花

令和2年12月、令和2年度日本塑性加工学会若手交流会ポスター発表会がオンラインで行われ、材料力学研究室から3人の学生がポスター発表に参加しました。交流会では電気通信大学や宇都宮大学、東京大学他11校の大学から26人の学生がポスター発表に参加し、また塑性加工に関する技術を持つ企業の方々との講演も行われました。

私は「ハイテン材のプレス成形における離型性と金型の変形」をテーマとして発表を行いました。正直自分のレベルで発表ができるのかという不安もありましたが、日本塑性加工学会ポスター発表努力賞をいただくことができました。高専で学んできたことが高専の外でも通用すると実感できました。

群馬高専で学ぶ上で他校の大学生との交流の機会が少なくなりますが、本交流会は大学生と研究内容を発表しあうと同時に、大学生や企業の方から自分の研究に関する意見を聞くことができる貴重な機会でした。学会でのポスター発表という貴重な経験を今後にも生かして行きたいと思っています。



第6回 関東磐越地区化学技術フォーラム 発表奨励賞受賞
第18回 高校生シンポジウム 技術賞受賞

オンライン発表を終えて

理科部 3K 清水 弥央
理科部 3K 鈴木 駿太

この度、第6回関東磐越地区化学技術フォーラムにて奨励賞および一般社団法人プラズマ・核融合学会主催の第18回高校生シンポジウムにて技術賞を受賞しました。昨年先輩方と実験を行ってききましたが、今年の実験は夏休み後からのスタートだったため、実験の回数が少なく、データ収集に苦戦しました。また、発表のためのスライドや原稿作成をすることは初めてだったので、当日までの短い期間に今までのデータを用いて考えをまとめることがとても大変でした。オンラインでの発表となり、慣れた環境だったので、発表自体は落ち着いて行うことができました。実験と発表の機会を与えてくださった先生方と、協力してくれた先輩、そして一緒に頑張ってくれた同級生にはとても感謝しています。また、先輩方の今までの実験を引き継ぎ、発表という形で残せたことを嬉しく思います。



サイエンスメンタープログラム採択

ここからが本番!

理科部 2年1組(K) 岩佐 茜

この度、公益財団法人日本科学協会のサイエンスメンタープログラムにおいて、高崎量子応用研究所のプロジェクトリーダーの八巻先生をメンターとして水の低電圧電気分解の研究を採択していただきました。この場を借りて感謝申し上げます。研究計画を立てるにあたって八巻先生と面談を行い、特に実験データの測定方法について「理科の授業でのデータと、研究レベルのデータ」という厳密性の違いについて教えていただきました。また、このプログラムの採択により2022年の3月に研究発表をすることが決まっているため、コロナ禍で大変な状況ですが堂々と発表できるように精一杯研究に取り組みたいと思います。



エコノミクス甲子園群馬大会 第3位

エコノミクス甲子園群馬大会で今年も3位

クイズ研究会 3E 坂上 文太
クイズ研究会 3E 高橋 陽太

今年もエコノミクス甲子園が開催されました。昨年までとは違い、オンラインでの開催となりました。例年では他校の高校生たちとの交流も醍醐味でしたが、そういった機会が全くなかったのが少し残念でした。万全の対策をして、経済用語への理解を深めて大会に臨んだつもりでしたが、本番では焦ってしまい、いくつかミスをしてしまい、私たちの結果は去年と同様群馬県で3位でした。今年もあと少しのところまで全国大会への出場権を逃してしまいました。3年生の私たちはもうこの大会に出ることができません。しかし、ここで立ち止まってははいけません。今年は私たち以外にもクイズ研究会から2チームの参加があり、そのうちの1チームは今年度入学してきた1年生のチームでした。来年度以降は先輩たちに託し、必ずや全国大会の切符を掴んでほしいと思います。私たちの戦いはまだまだ終わりませんよ?



技術士第一次試験(技術士補)合格について

「技術士」を目指して、第一次試験21名合格!

環境都市工学科 教授 木村 清和

環境都市工学科卒業生の多くが建設・環境分野で活躍する中で、最上位の国家資格である「技術士」取得に向けて努力をしています。「技術士」は社会で高く評価され、責任ある立場で仕事をする上で必要な資格です。この技術士を取得するには第1次試験に合格後、所定の経験年数を積んで第2次試験にチャレンジします。そこでC科では、在学中にこの第1次試験の受験を推奨しています。今年度はコロナ禍での受験となりましたが、4年生10名、5年生8名、専攻科生3名の合計21名が合格しました。合格された皆さん、おめでとうございます。

今後C科では技術士第1次試験の受験をサポートします。是非、在学中に第1次試験に合格し、卒業後は「技術士」を目指しましょう。既に令和3年度技術士第一次試験の詳細が日本技術士会のHPに公開されています。QRコードよりご確認ください。

【合格者一覧(敬称略)】

- 4年環境都市工学科 10名
大川原 大智、大山 拓也、金子 恭也、唐沢 和輝、小松 由依、清水 佑、土屋 奏人、西田 拓海、茂木 陽平、吉井 響
- 5年環境都市工学科 8名
井澤 亮介、樺澤 陸玖、川原 碧生、黒岩 駿平、都築 直仁、中村 隼人、細川 裕紀、山居 洋介
- 専攻科1年環境工学専攻 3名
小山 寛貴、齋藤 溪太、堀 蓮



令和2年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏名	学科名
代 悠人	機械工学科
峯岸 宏典	電子メディア工学科
大久保 拓哉	電子情報工学科
黒岩 愛帆	物質工学科
松本 安祐美	環境都市工学科

2. 課外活動功労賞

氏名	クラス	対象事項
狩野 琢磨	5J	学生会長、工華祭実行委員長
飯田 龍	5E	男子寮長
永井 梓織	5K	女子寮長
清水 敬太	5M	陸上競技部部长
黒岩 航舜	5E	陸上競技部部长
黒岩 駿平	5C	硬式野球部監督
吉野 主晃	5E	サッカー部部长
野口 隼人	5M	バレーボール部男子部長
大塚 望菜美	5C	バレーボール部女子部長
中村 隼人	5C	バスケットボール部男子部長
青木 悠真	5E	バスケットボール部男子キャプテン
荻野 楓	5C	バスケットボール部女子キャプテン
川原 碧生	5C	ソフトテニス部部长
今井 克実	5C	卓球部部长
石井 裕樹	5C	剣道部部长
村田 悠夏	5K	剣道部女子代表
細川 裕紀	5C	テニス部部长
高木 杏美	5C	バドミントン部女子代表
唐澤 風海人	5E	理科部部长
諸田 有希奈	5K	茶道部部长
大友 悠暉	5E	SF研究部部长
清水 怜央	5J	電算部部长
関口 賢太	5M	演劇部部长
菊地 一智	5C	将棋部部长
新井 達也	5M	ロボット研究会代表
岩瀧 良太	5E	ロボット研究会代表
鈴木 颯太	5M	ロボット研究会チームリーダー
井澤 亮介	5C	構造デザイン研究会代表

3. 特別功労賞

氏名	クラス	対象事項
嶋 清花	5M	プレ宇宙コンテスト 最優秀賞
萩原 想大	5M	プレ宇宙コンテスト 最優秀賞
柳原 知佳	2-2(M)	関東信越地区英語弁論大会 レシテーション部門 優勝
村上 森音	4M	全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト シングル部門 3位

4. 卒業研究優秀賞

氏名	学科名	研究題目
齋藤 鈴花	機械工学科	ハイテン材のプレス成形における型変形
飯田 龍	電子メディア工学科	ベクシオン強度の数理モデル化
清水 怜央	電子情報工学科	機械学習を利用した音声変換技法
今井 啓太	物質工学科	多孔質酸化チタン—有機ポリシラン複合膜の光電導
井澤 亮介	環境都市工学科	地震観測記録に基づく構造物の損傷状態推定に関する基礎研究

5. その他(学会からの表彰等)

氏名	クラス	クラブ名	対象事項
嶋 彩花	AP2		日本機械学会関東支部群馬ブロック 研究交流会2019 優秀ポスター発表賞
石川 真菜	AE2		2019年日本化学会関東支部群馬地区 研究交流発表会 優秀ポスター賞
栗原 花怜	AE2		4th International Conference of Science of Technology Innovation 2019 "Best Poster Award"
田中 健太	5M		日本機械学会 畠山賞
エンフバヤル ホラン	5K		日本化学会 関東支部長賞
井澤 亮介	5C		全国高専土木工学会 近藤賞
清水 弥央	3K	理科部	関東信越地区化学技術フォーラム 発表奨励賞
鈴木 駿太	3K		
岩佐 茜	2-1(K)		

新任者紹介(事務職員)

★採用年月日

□ 南雲 英一郎 (総務課施設管理係長)

★令和3年2月1日

離任者紹介(事務職員)

★転出年月日

□ 上野 典彦 (総務課施設管理係長)

★令和3年1月31日

編集後記

群馬高専「学校だより第122号」をご覧いただき誠に有難うございます。この学校だよりが数年後に、再び皆様に読まれることもあるかと思います。その際には、多くの寄稿文において、新型コロナウイルス感染症の影響、特に緊急事態宣言時の学校の様子を語った文章にふれ、その後、どのように社会に変化があったのか考える時もあるのではないかと思います。1つには、それまで積極的に活用されてこなかった遠隔授業やリモートワークが普及した始まりを知ることができるかもしれません。そうした記録として、この学校だよりも教育に貢献できるのではないかと思います。また、ご寄稿頂いた皆様をはじめ、コロナ禍の難しい状況に工夫を重ね編集を行って頂いた大和田教授と総務課高橋様に大変感謝申し上げます。

(広報委員長 市村 智康)